An architectural model of a city, showing a grid of buildings and a central canal. A large, curved, light-colored structure, possibly a park or a public space, is highlighted in the foreground. The model is set against a dark background, with some areas illuminated to show details.

深川の水辺に“日常の風景”を取り戻したいと思いました。そのためには、遊歩道や公園を整備すればよいためではないはずです。そこに必要なのは、“文化”だと考えました。人の営みと結びついてこそ、精神的な距離は縮まり、心地よい親水空間が生まれるのではないのでしょうか。

深川らしい、水辺と人の暮らしの風景を3つの施設に投影しました。賑わいと静寂が融合した水辺の風景。日常として記憶に残る、「なつかしい未来」を提案します。

水面に落とした一滴の水が、幾重にも輪を描いて広がるように、“らしさ”のある水辺が、運河沿いの街に広がっていくことを期待します。

なつかしい未来  
運河がつなぐ深川の記憶



# 深川運河再生計画

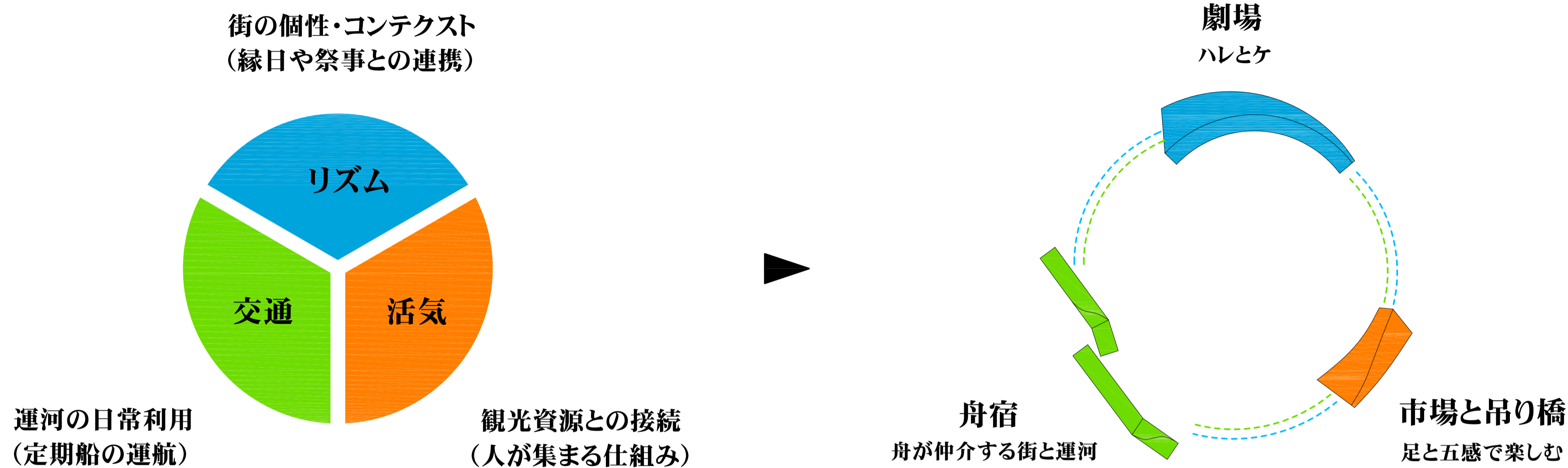
## ①街の裏側となった運河

この街を流れる運河はかつて人の暮らしと密接に関わっていました。現在の運河沿いは遊歩道になっています。しかし、水際には高い柵が設けられ水との距離を遠く感じます。



## ②提案:水辺に文化をもたらす

運河と人の暮らしを結びつける施設に文化の要素を加え、運河と人の精神的な距離を縮めます。

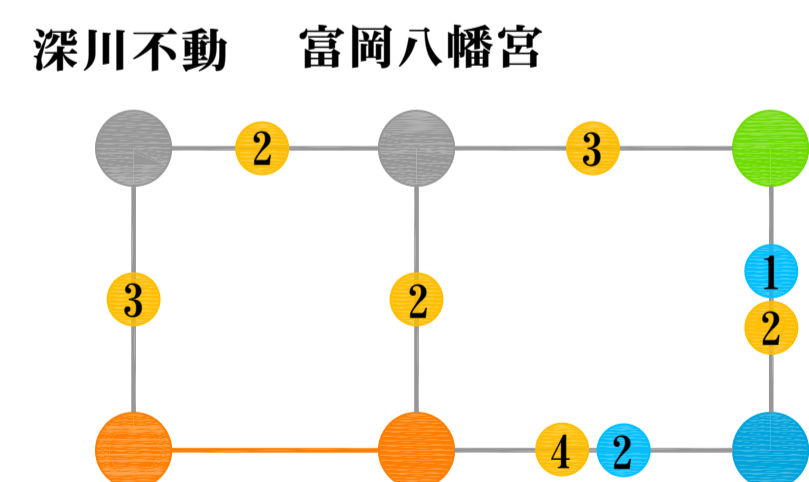


## ④街と運河をつなぐ

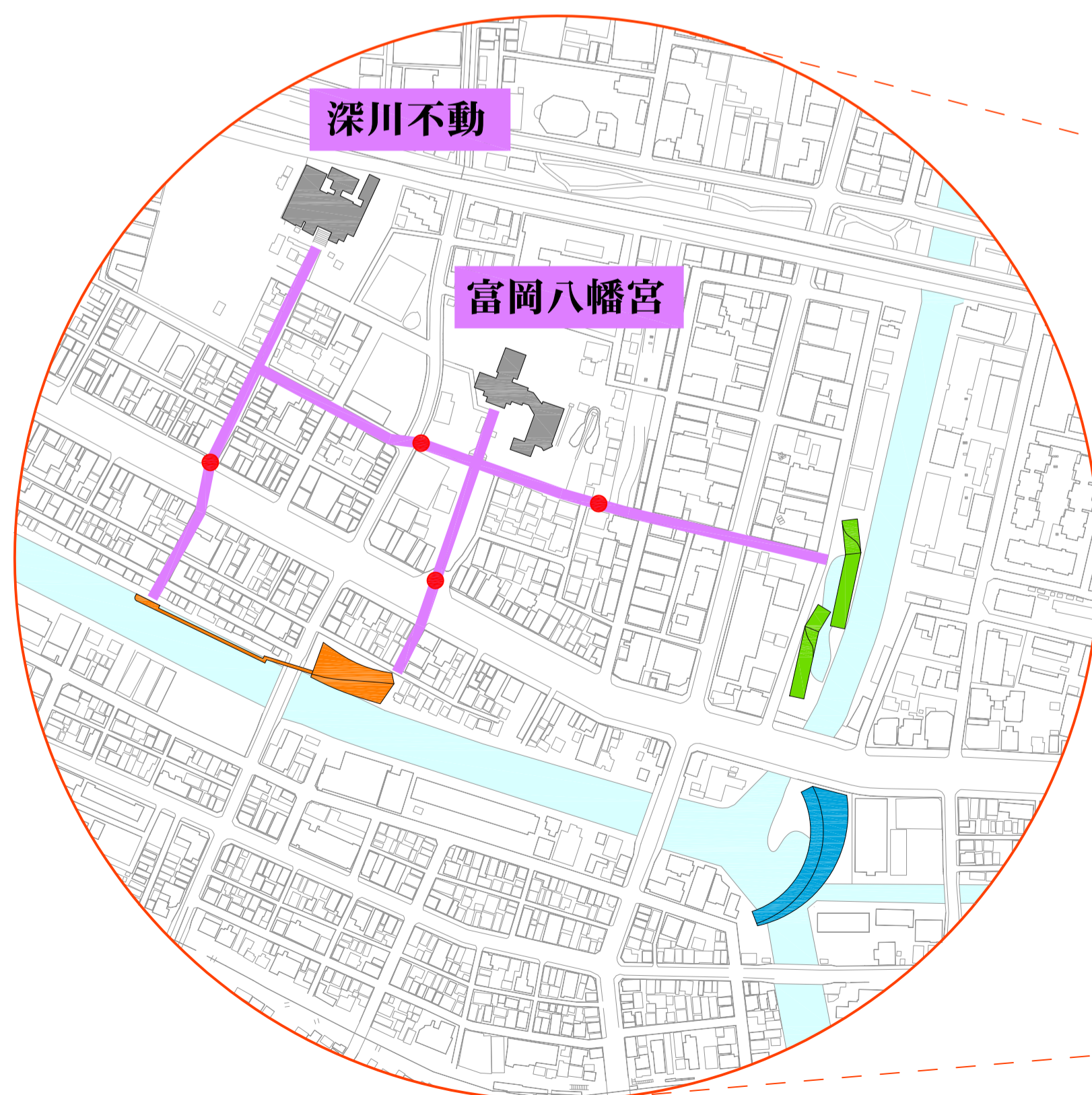
深川不動と富岡八幡宮の参道から見える位置に、3つの施設を配置します。4つの鳥居からは水辺で食事する人や舟が行き交う風景が見えます。水辺の人の営みが街と運河をつなぎます。

### 経路図

- ① 徒歩:分
- ② 舟:分(200m/分)

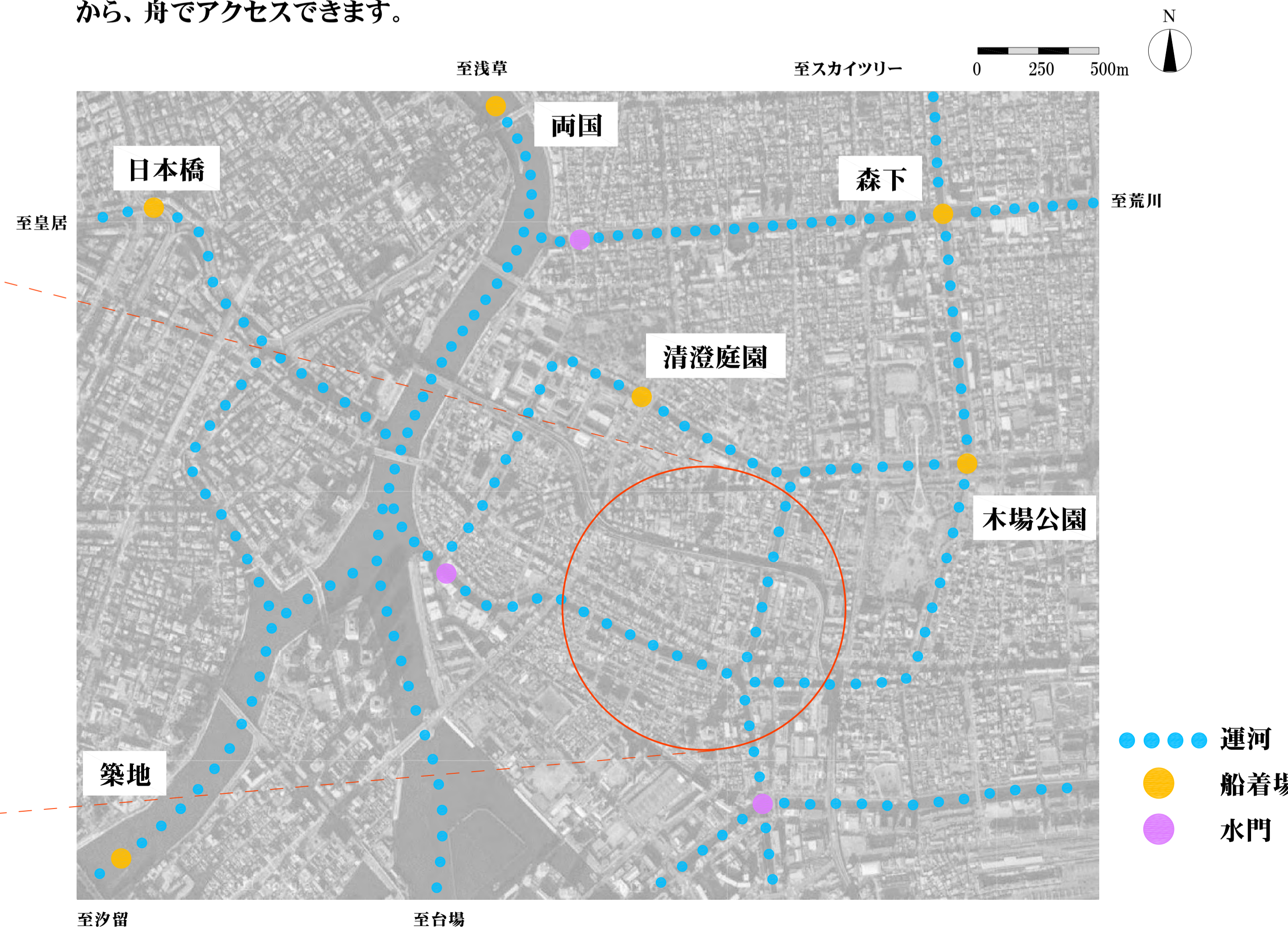


- 鳥居
- 参道の軸
- 運河



## ⑤街と街をつなぐ

深川全域及び隅田川流域の街に船着場を設けます。観光地や公共公園、そしてビジネス街から、舟でアクセスできます。



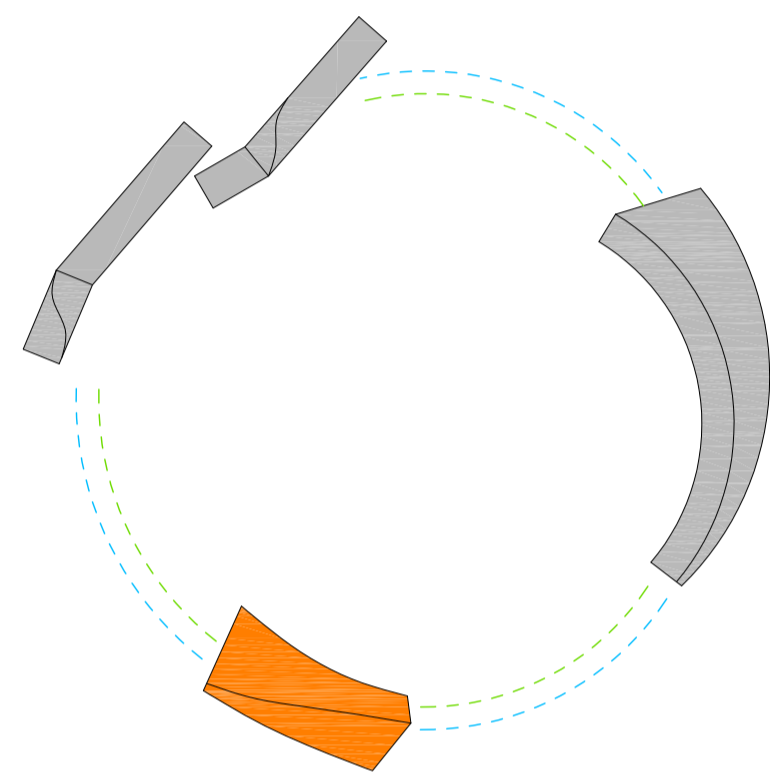
- 運河
- 船着場
- 水門



# 並木の吊り橋とスロープ市場

深川不動の参道を南下し、運河につきあたる地域は飲み屋街です。かつては運河に開いた花街として深川の遊興の中心でした。そこで、ここに、賑わいと憩いが融和する場所を作りました。

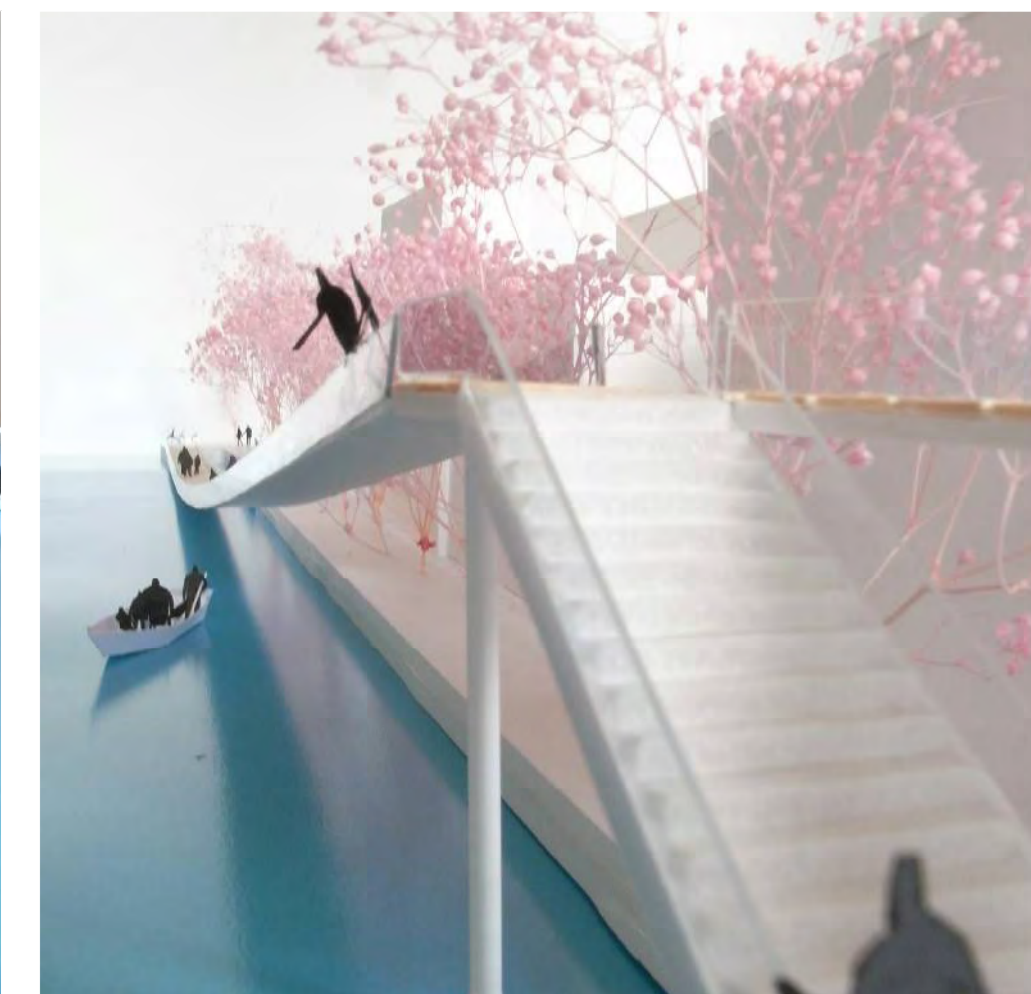
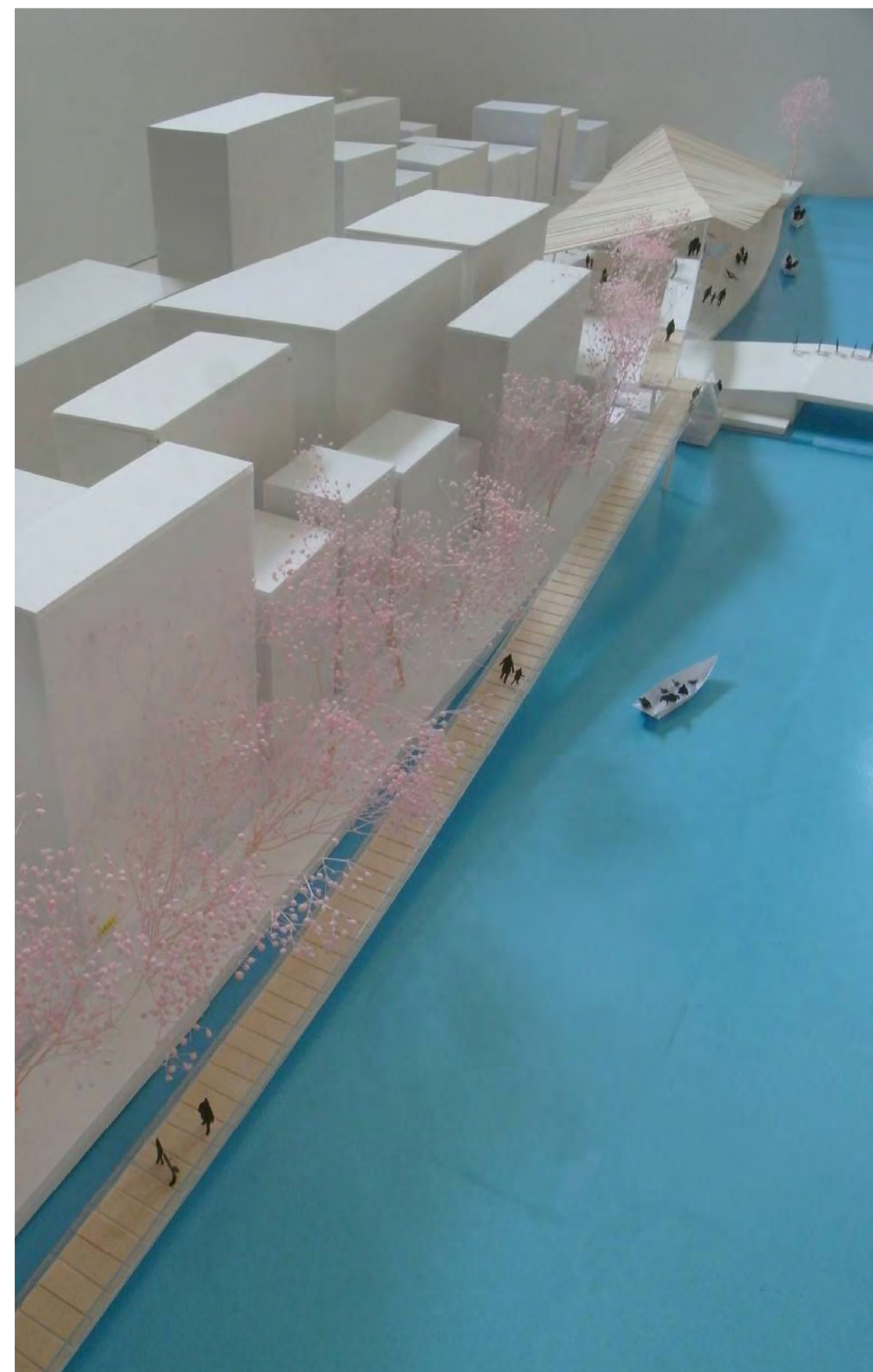
運河沿いの桜並木に寄り添うように吊り橋を架けています。緩やかな曲線を描く橋を歩いていくと、目線は徐々に枝の高さに近づいていきます。風に揺れる葉の音を聞きながら緑を感じる吊り橋です。



### ・計画概要

所在地:江東区富岡1丁目  
主体構造:鉄骨造

用途地域:商業地域  
敷地面積:1,672㎡  
延床面積:1,264㎡  
建築面積:1,148㎡  
容積率:75.6% < 400%  
建ぺい率:68.7% < 80%

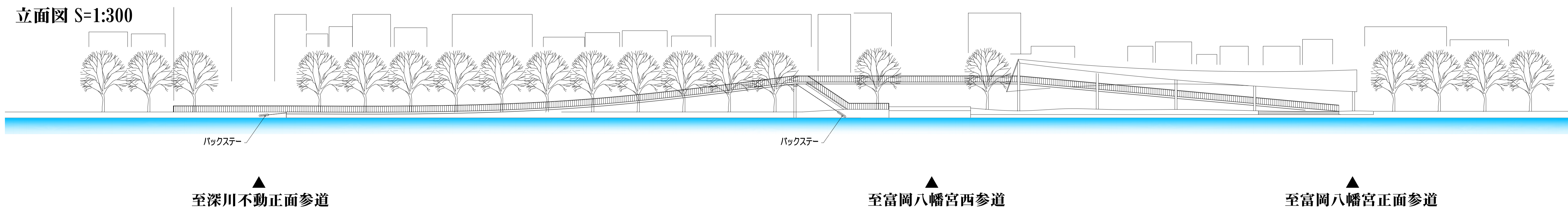


深川不動正面参道

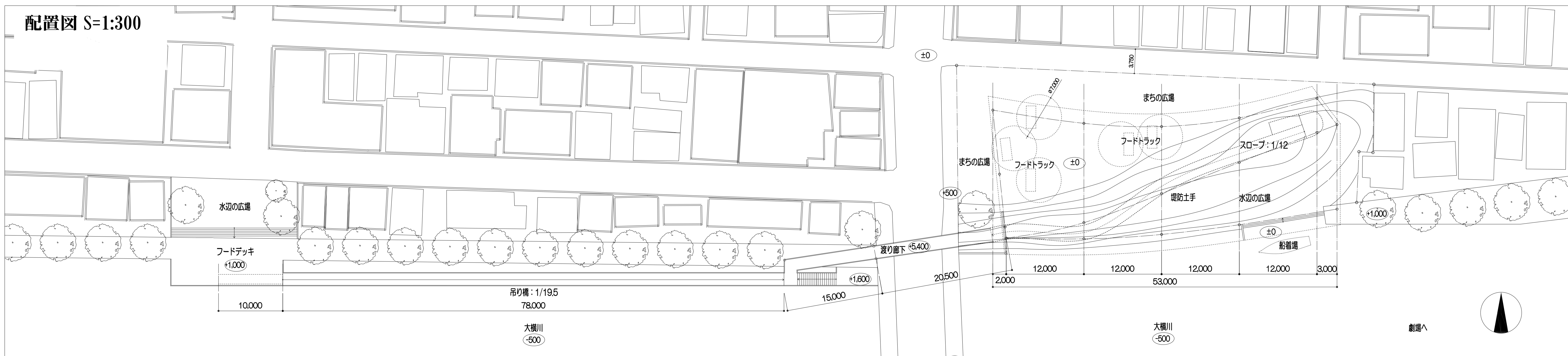
富岡八幡宮西参道

富岡八幡宮正面参道

立面図 S=1:300

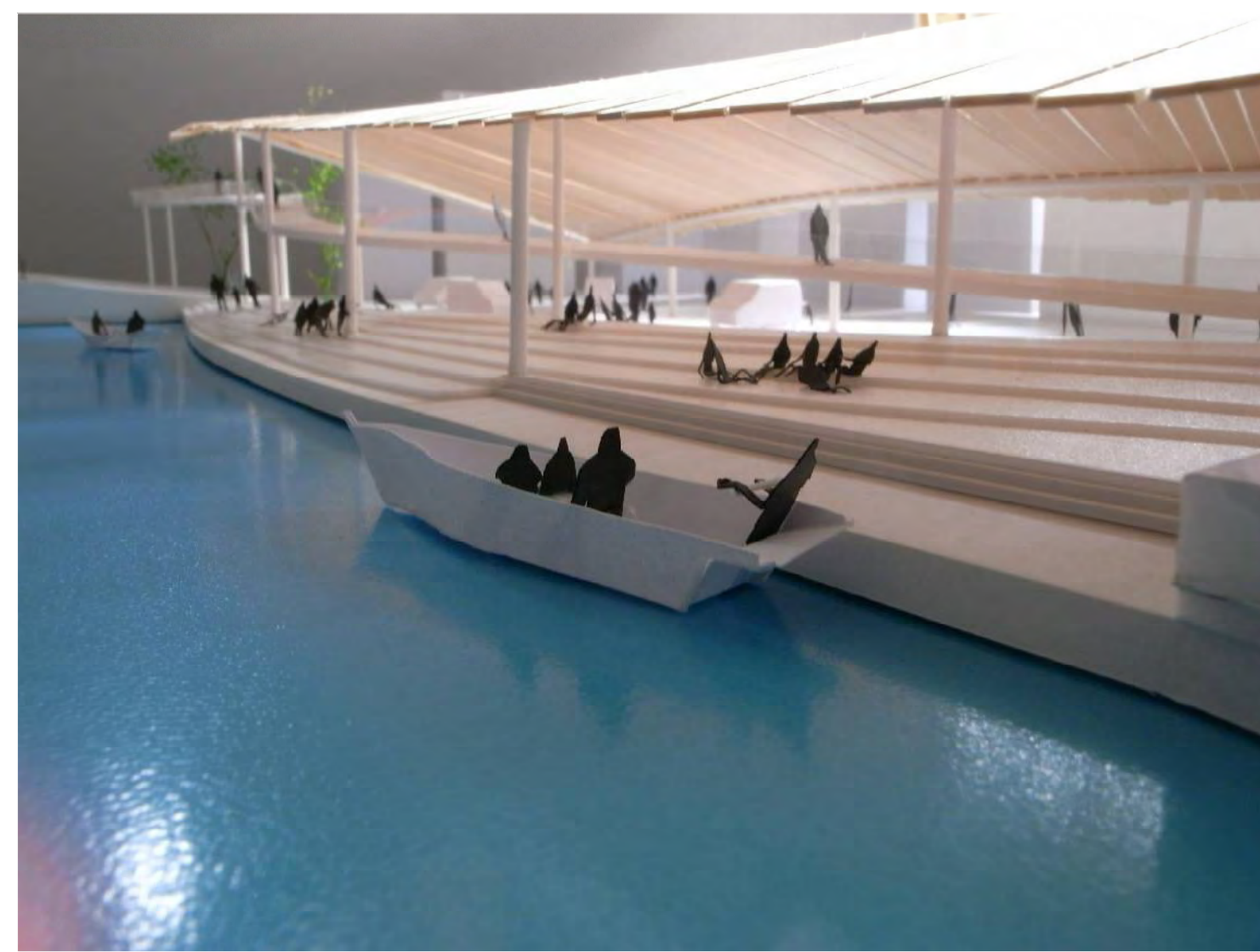
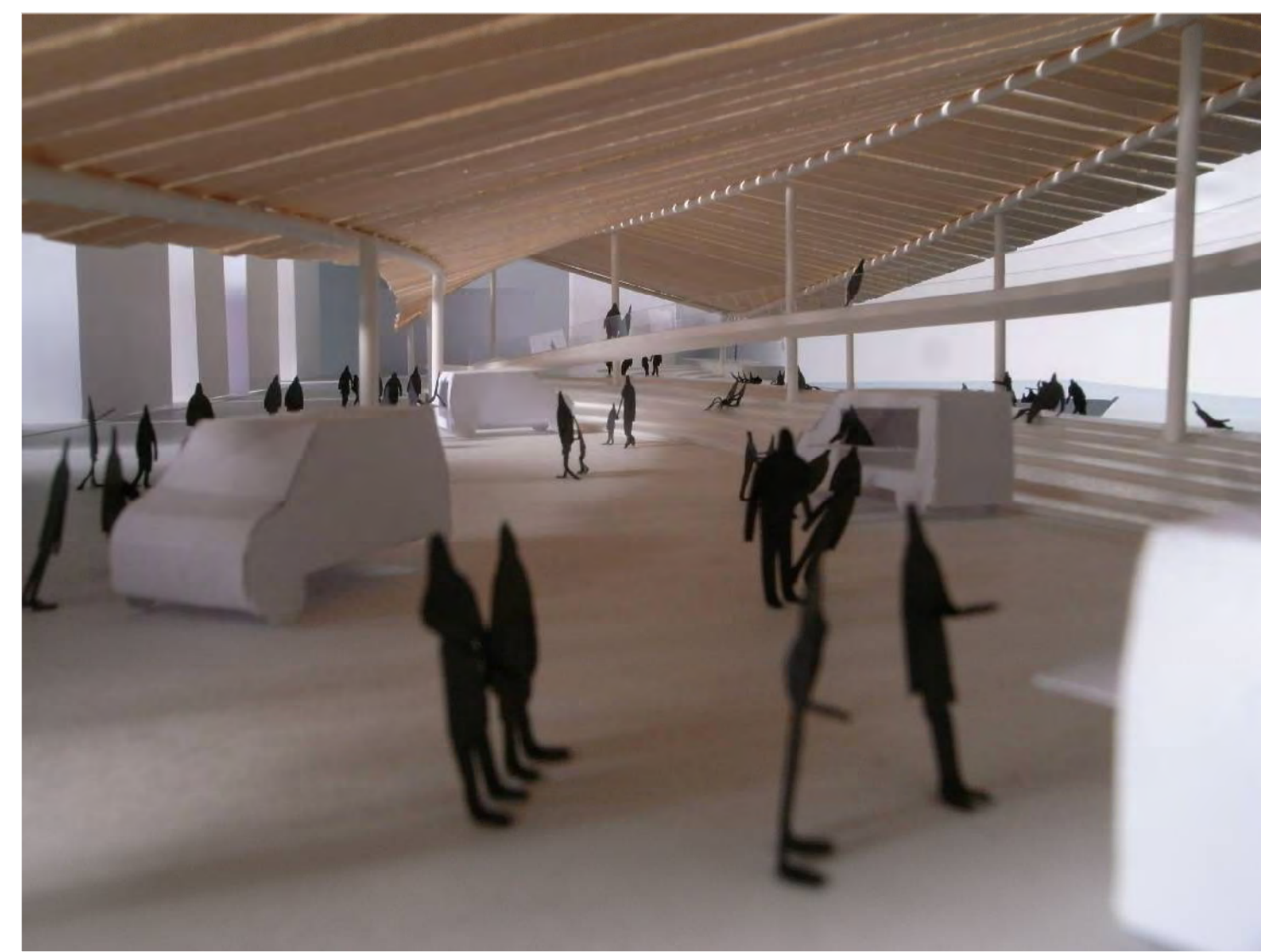
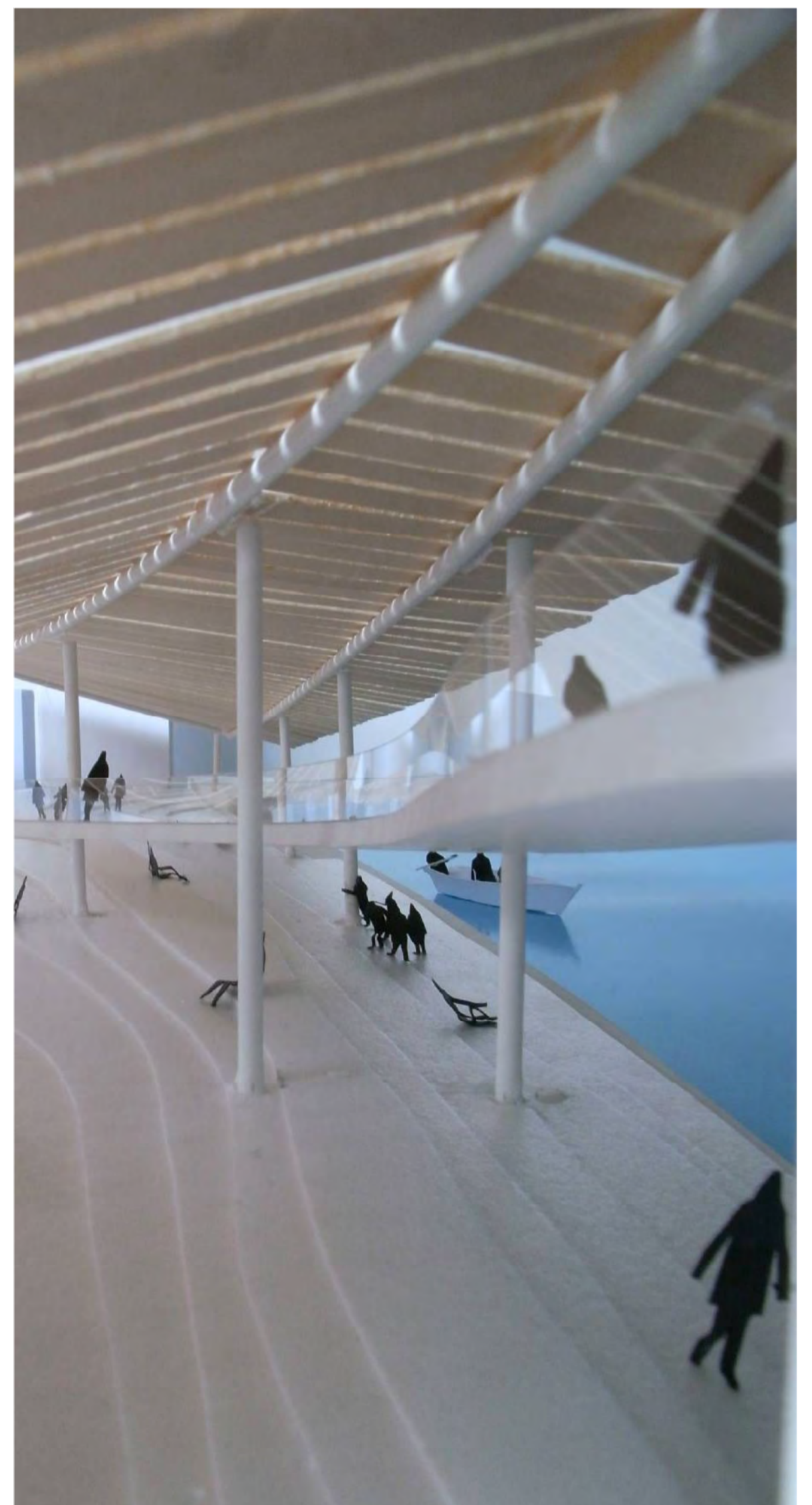
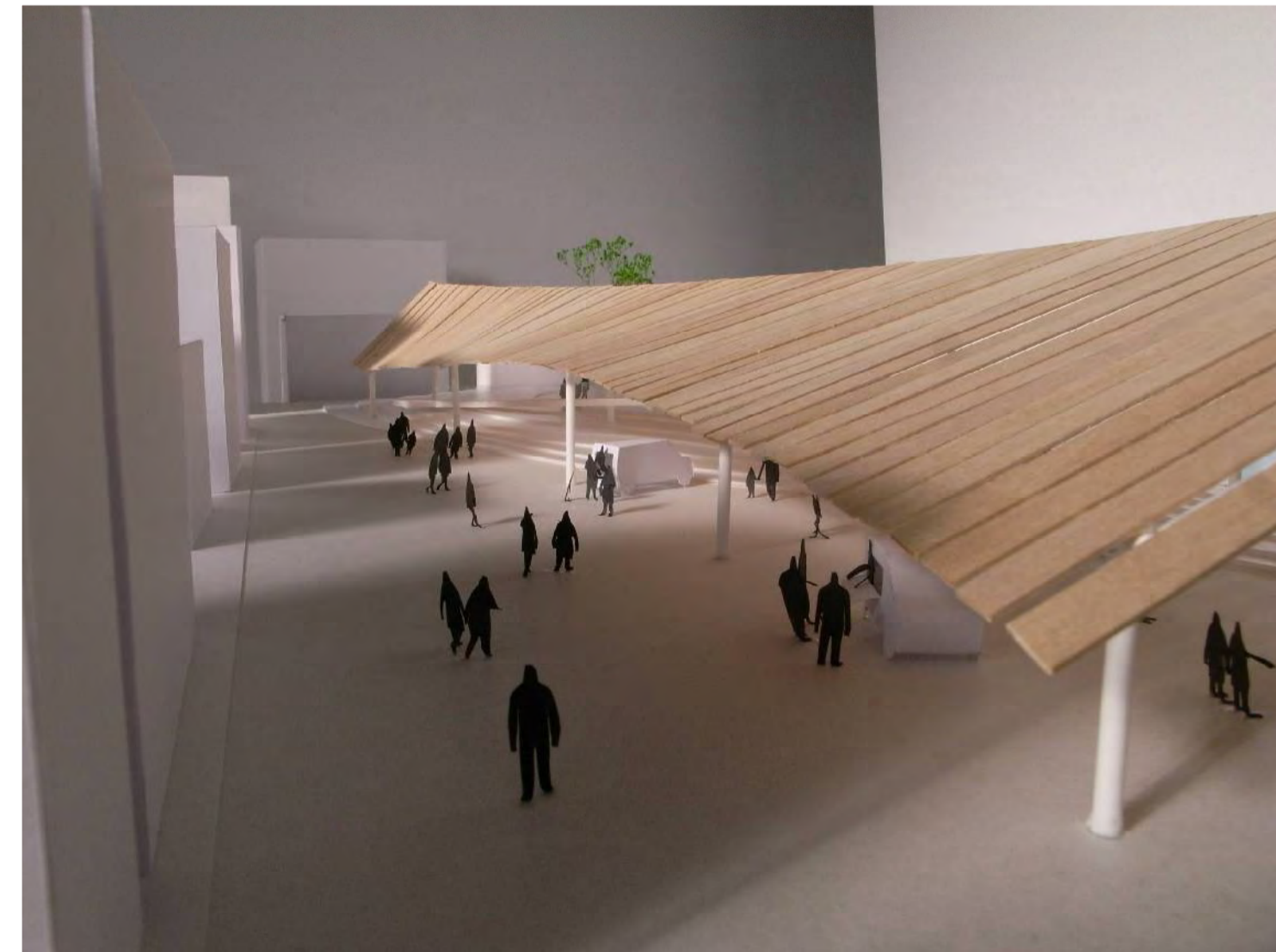
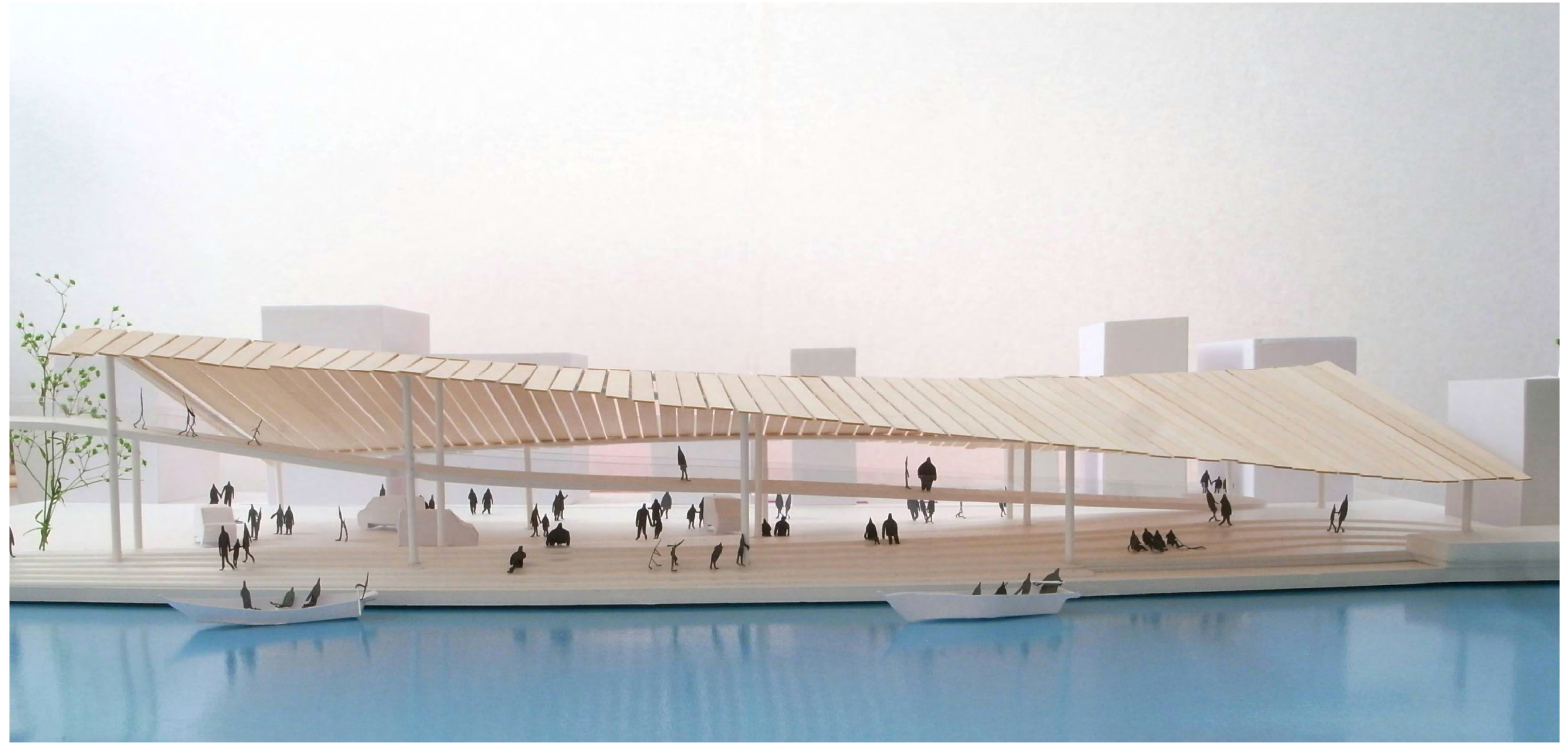


配置図 S=1:300





吊り橋を渡りきると、大きな屋根がかかる広場にでます。ここは、フードトラックが集まる活気ある市場です。左手に市場の賑わい、右手に水辺の憩いを見下ろしながらスロープを降りて行きます。盛り上がった土手は堤防を兼ねています。

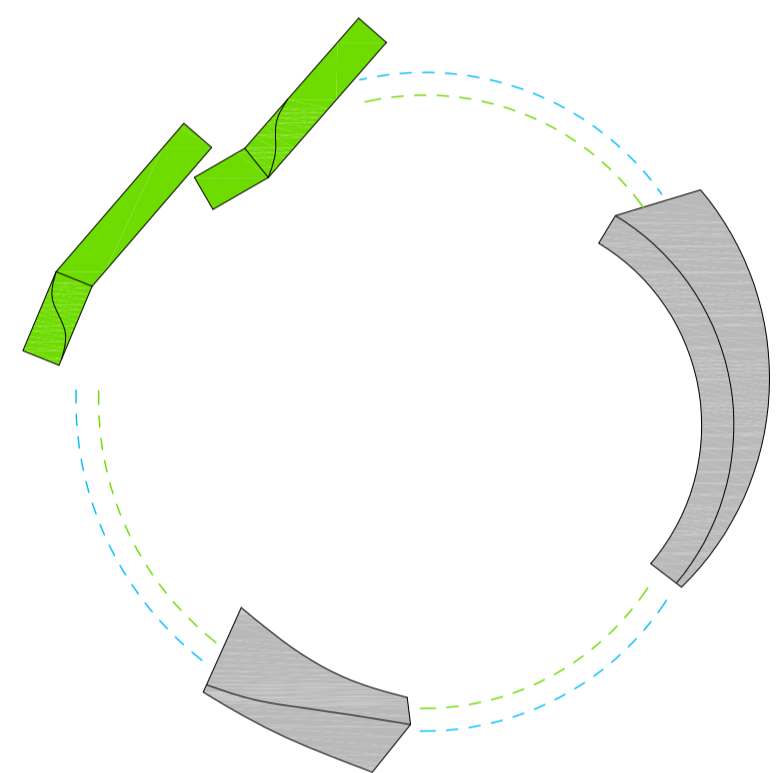




# 舟景のある宿

富岡八幡宮のひっそりとした東参道の辺りは、かつて木場の貯木場でした。材木を運ぶ舟が行き交い、運河が生業に溶け込んだ風景がありました。そこで、行き交う舟の景色を主題にした宿を設計しました。

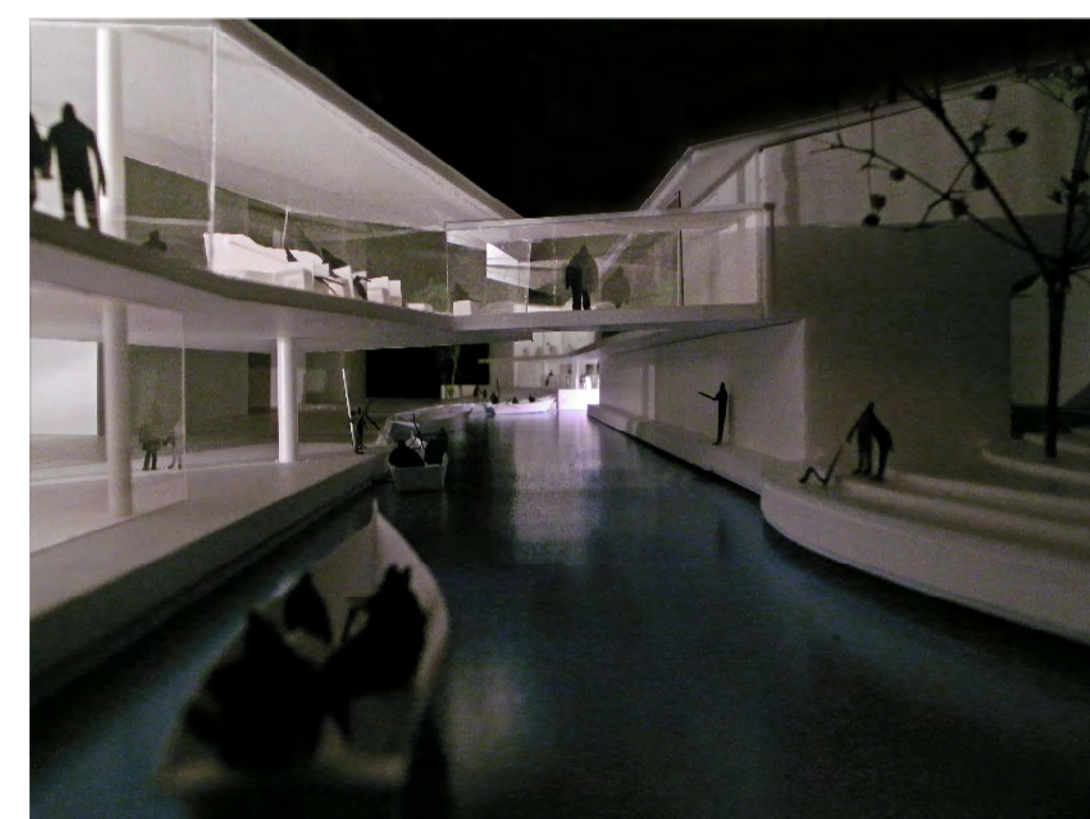
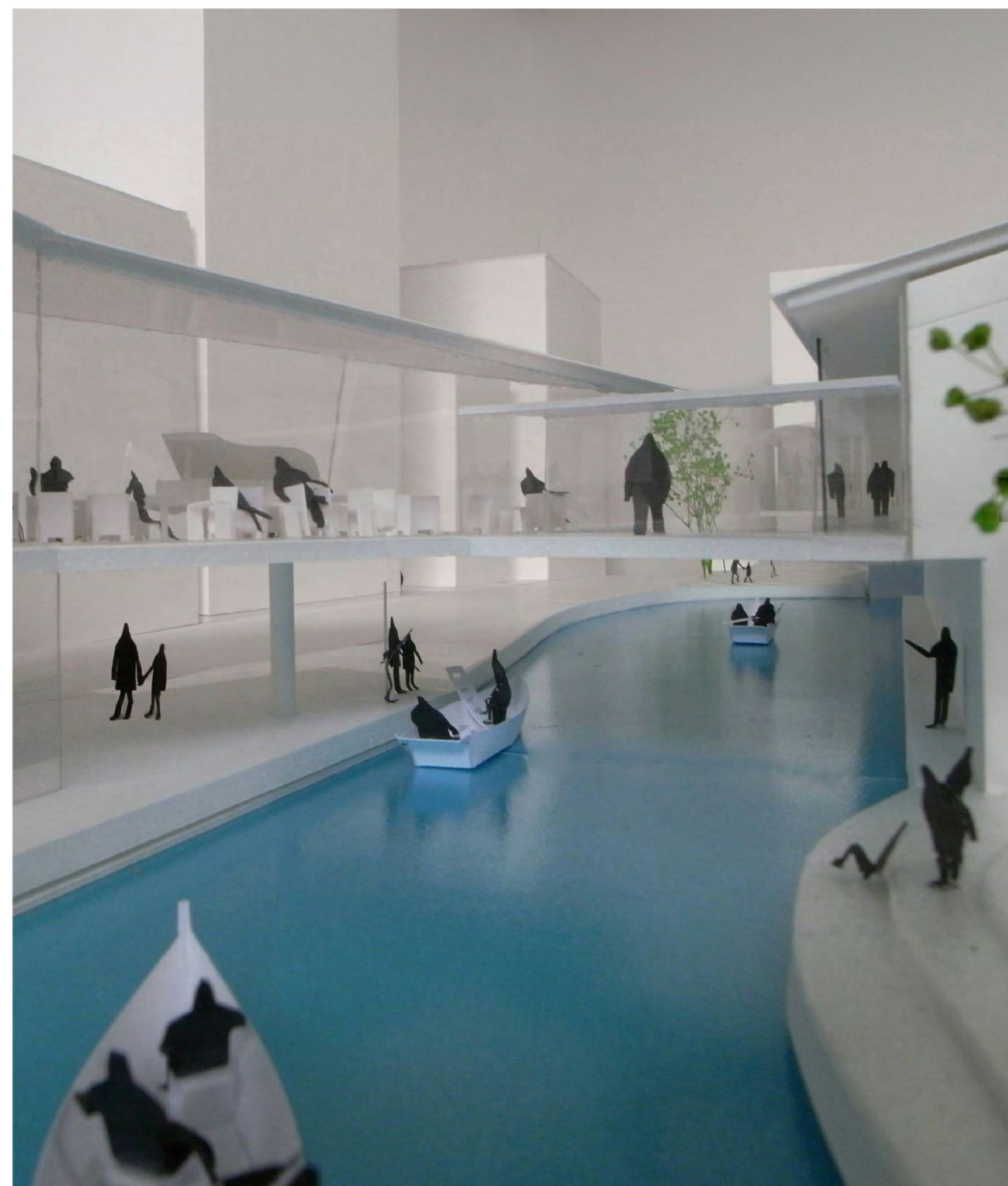
この宿は、暮らしのための定期舟の拠点となります。交通網としての運河の機能を再認識できる場所です。宿泊客は舟で訪れ、水辺を身近に感じながら静かな夜を過ごします。



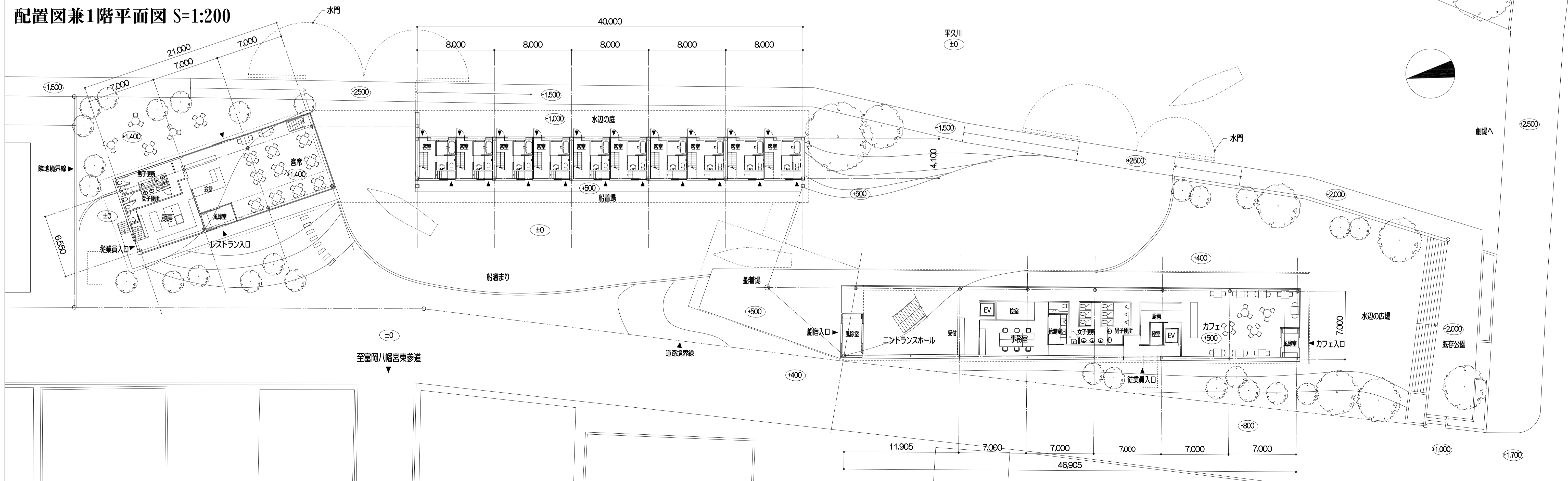
### ・計画概要

所在地:江東区富岡2丁目  
主体構造:RC造、鉄骨造

用途地域:近隣商業地域  
敷地面積:3,213㎡  
延床面積:1,650㎡  
建築面積:1,220㎡  
容積率:51.4% < 400%  
建ぺい率:37.9% < 80%

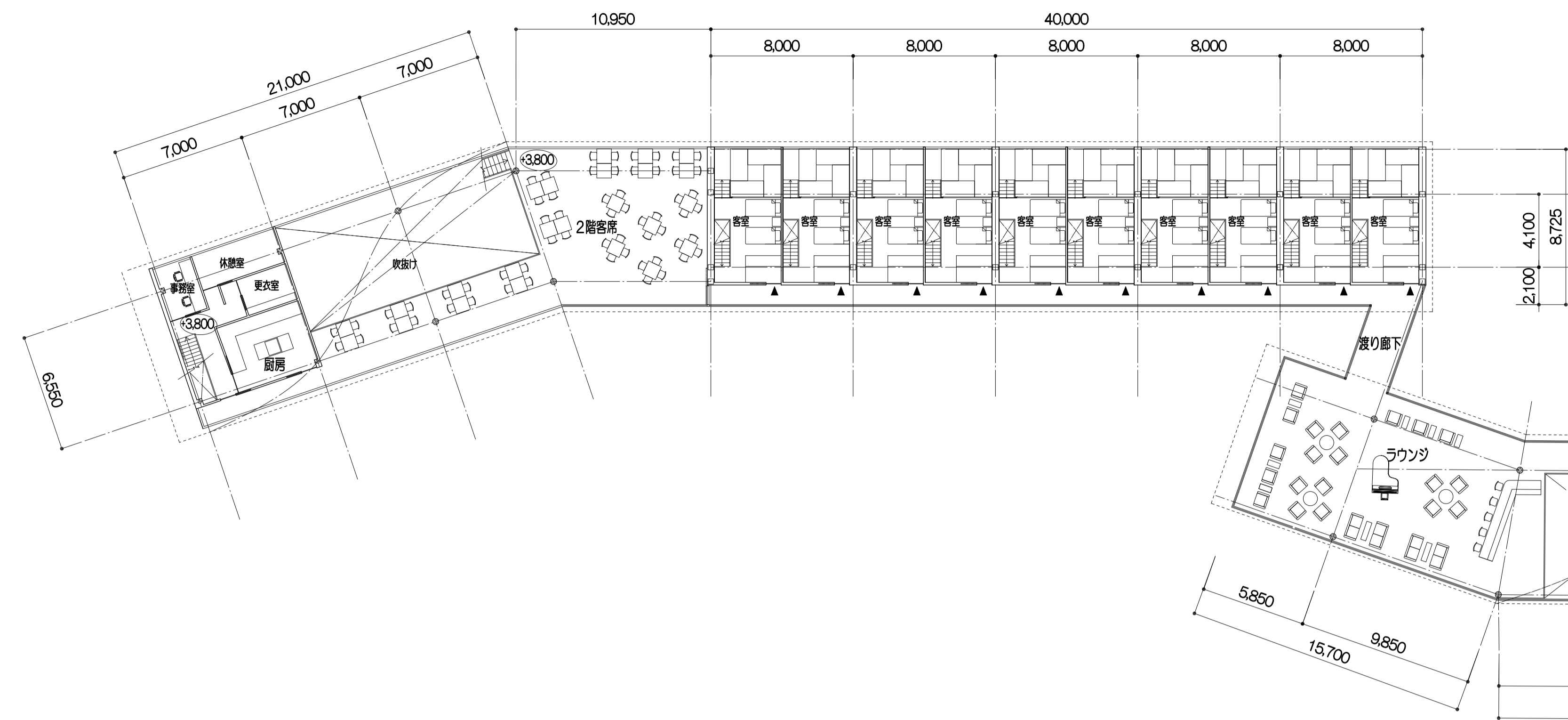


配置図兼1階平面図 S=1:200

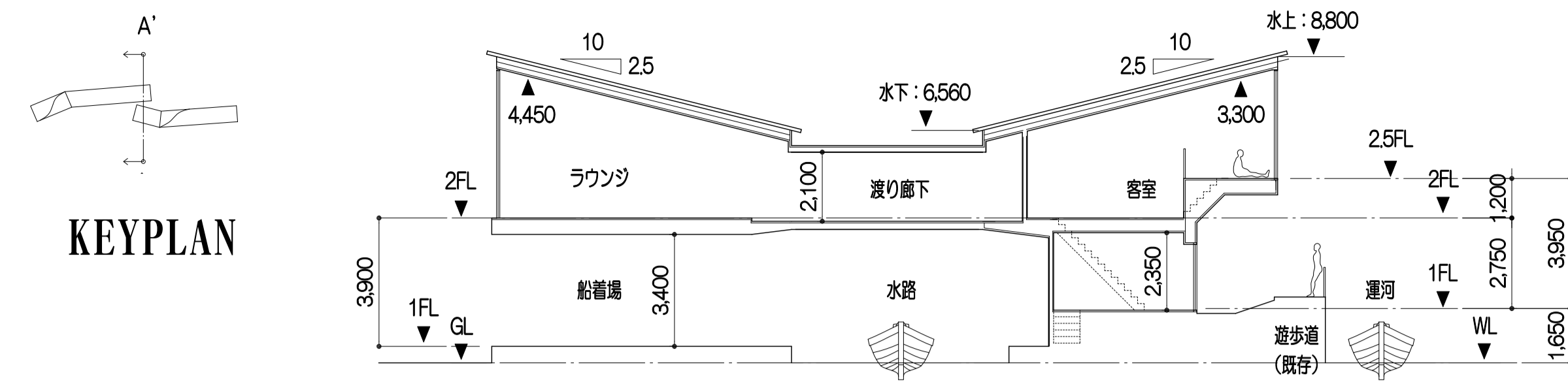




### 2階 平面図 S=1:200



### 断面図 S=1:150

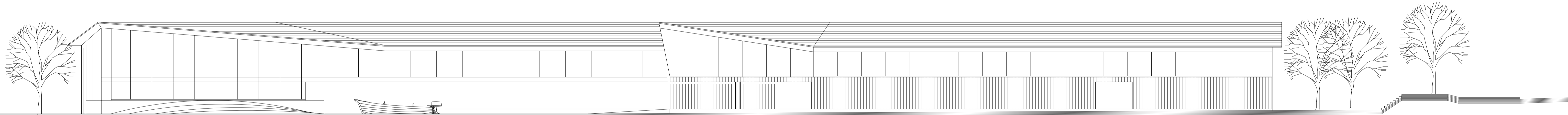


KEYPLAN

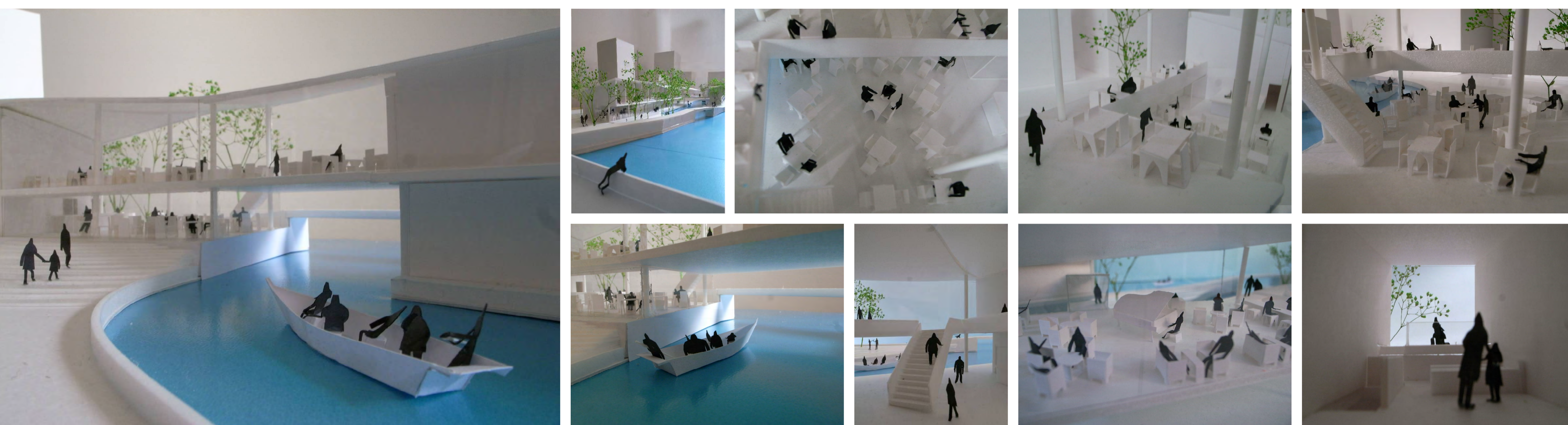


八幡宮東参道

### 西立面図 S=1:200



オートデスク学生版により作成





# 水の上の劇場

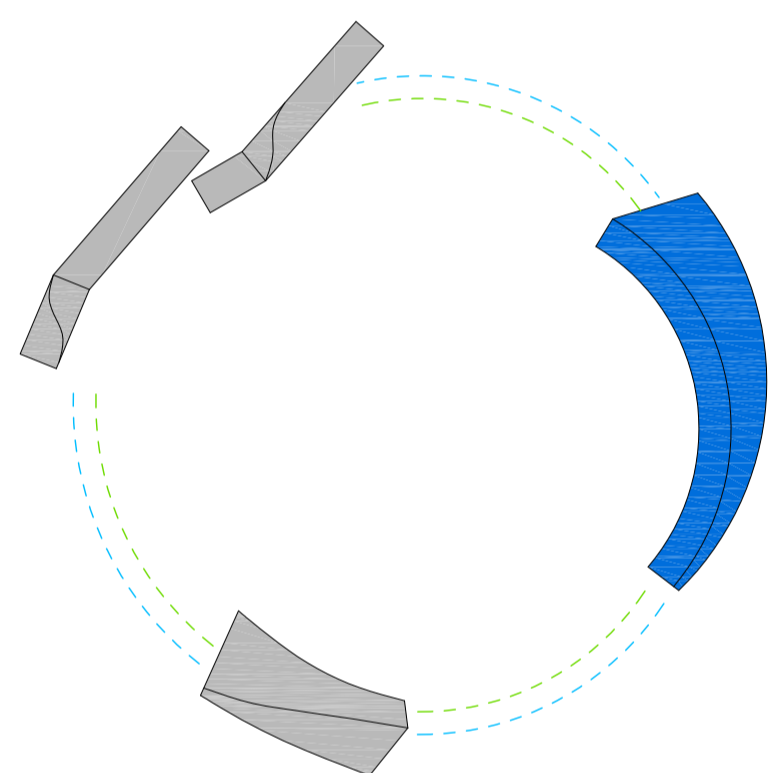
市場と船宿の間に位置し、2つの川が交わる場所に劇場を作りました。ここは、「ハレ(非日常)」と「ケ(日常)」の2つの顔を持つ劇場です。

月に3回行われる深川の縁日(ハレ)の日には、土手の広場は舞台になります。

劇場と橋に囲まれた舞台の周りには舟が集まり、水辺は音楽で満たされます。

ハレの日には、市場と宿の広場でもイベントが行われます。

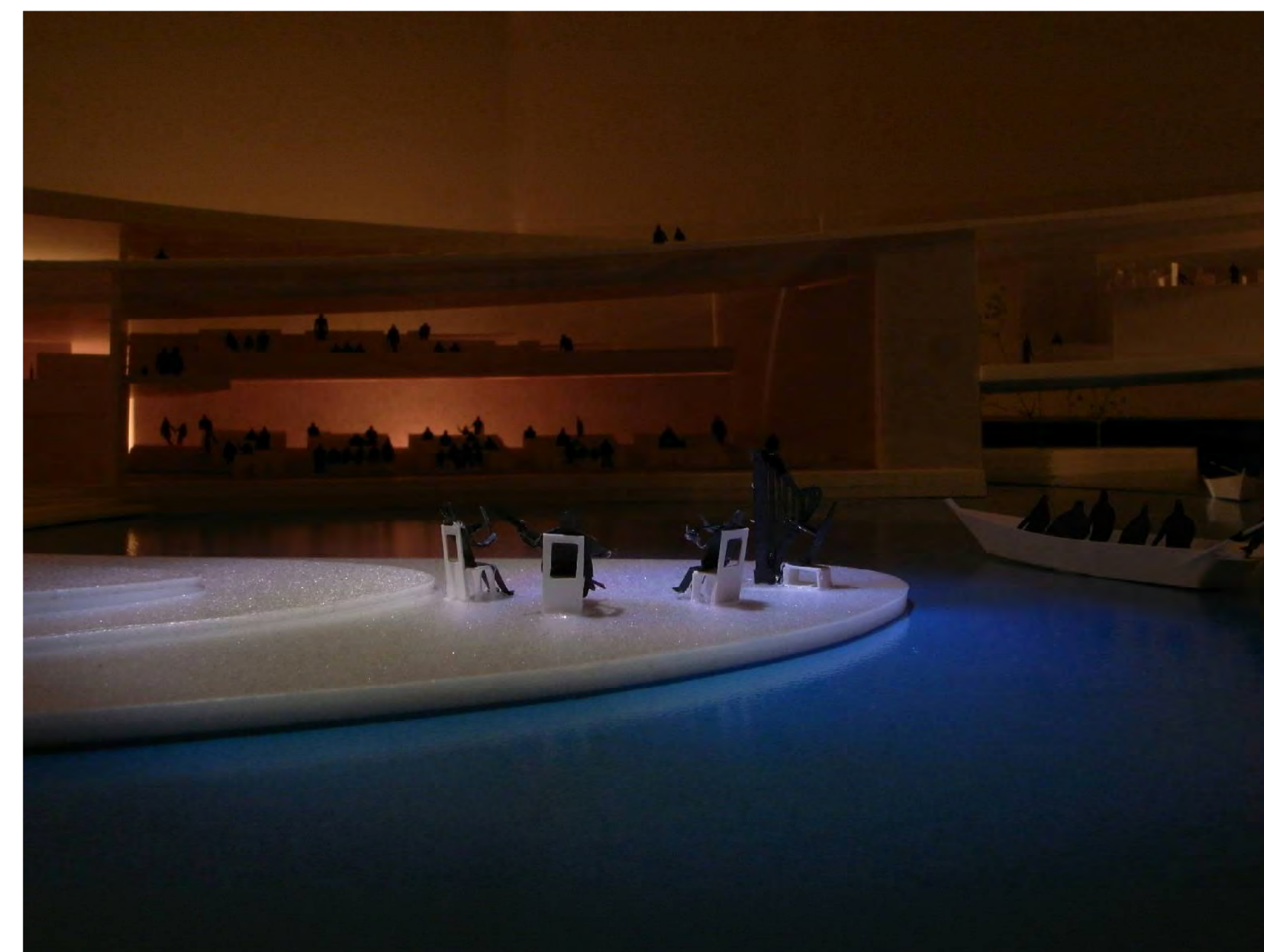
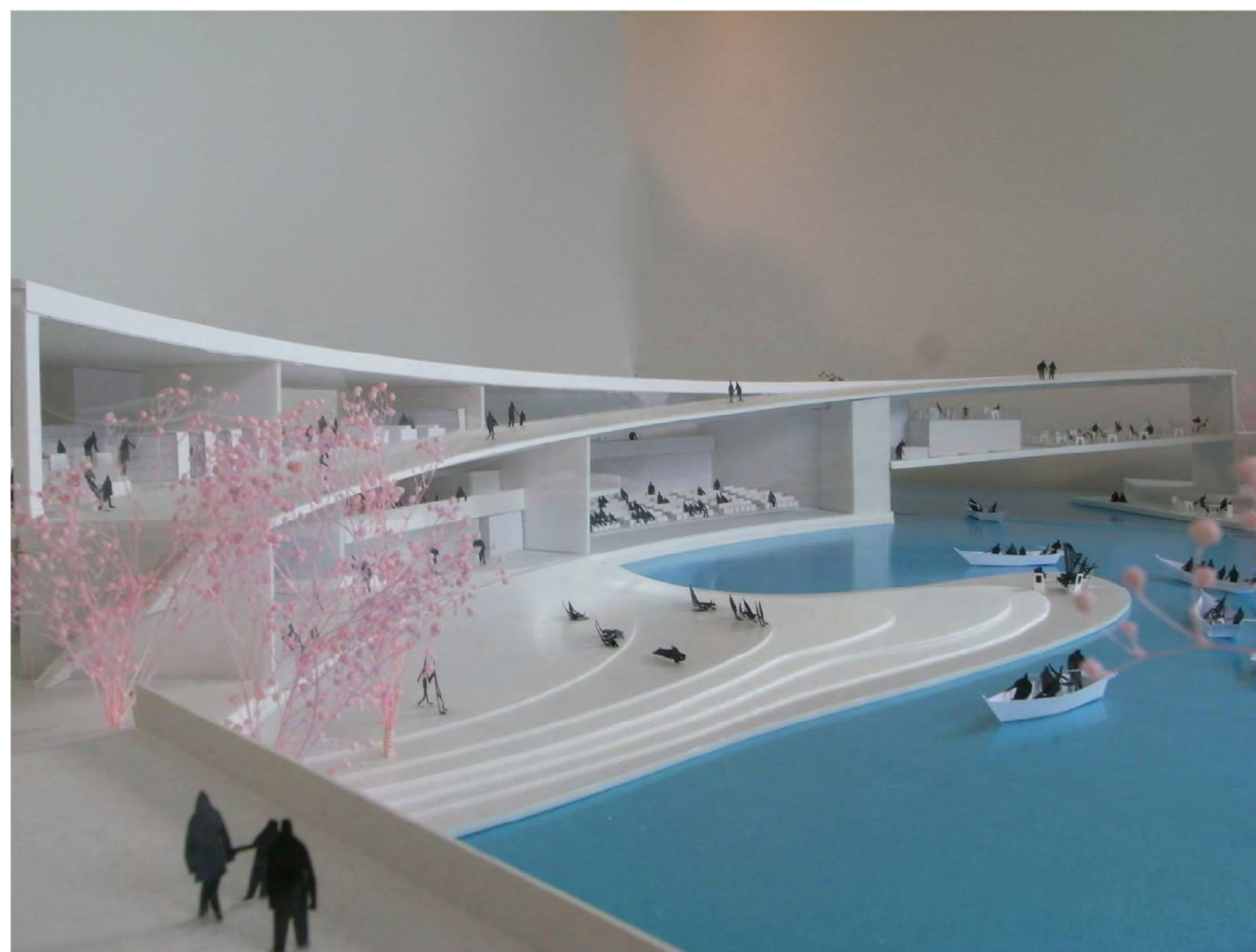
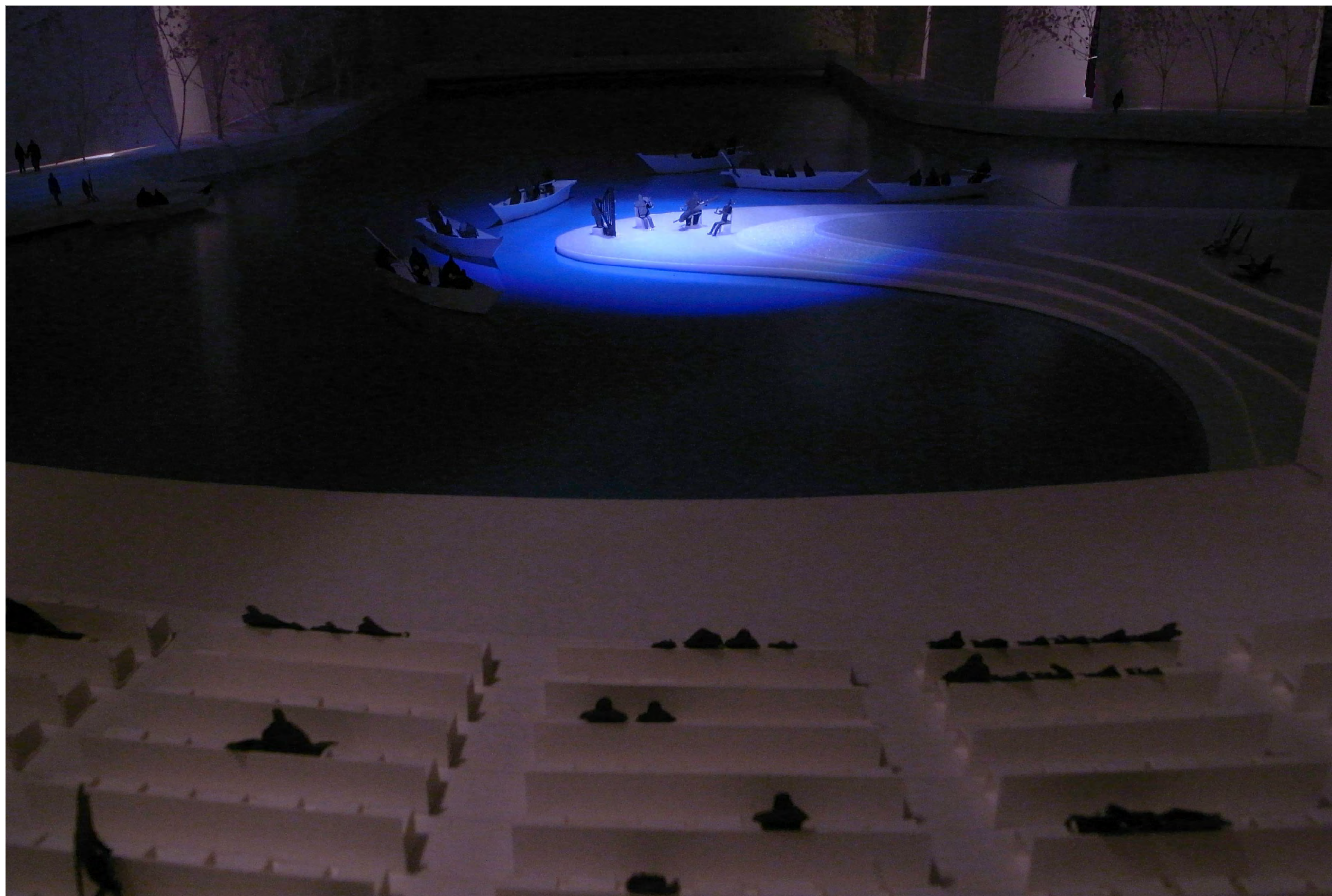
街と運河は強く結ばれ、深川のハレは、ひとつになります。



### ・計画概要

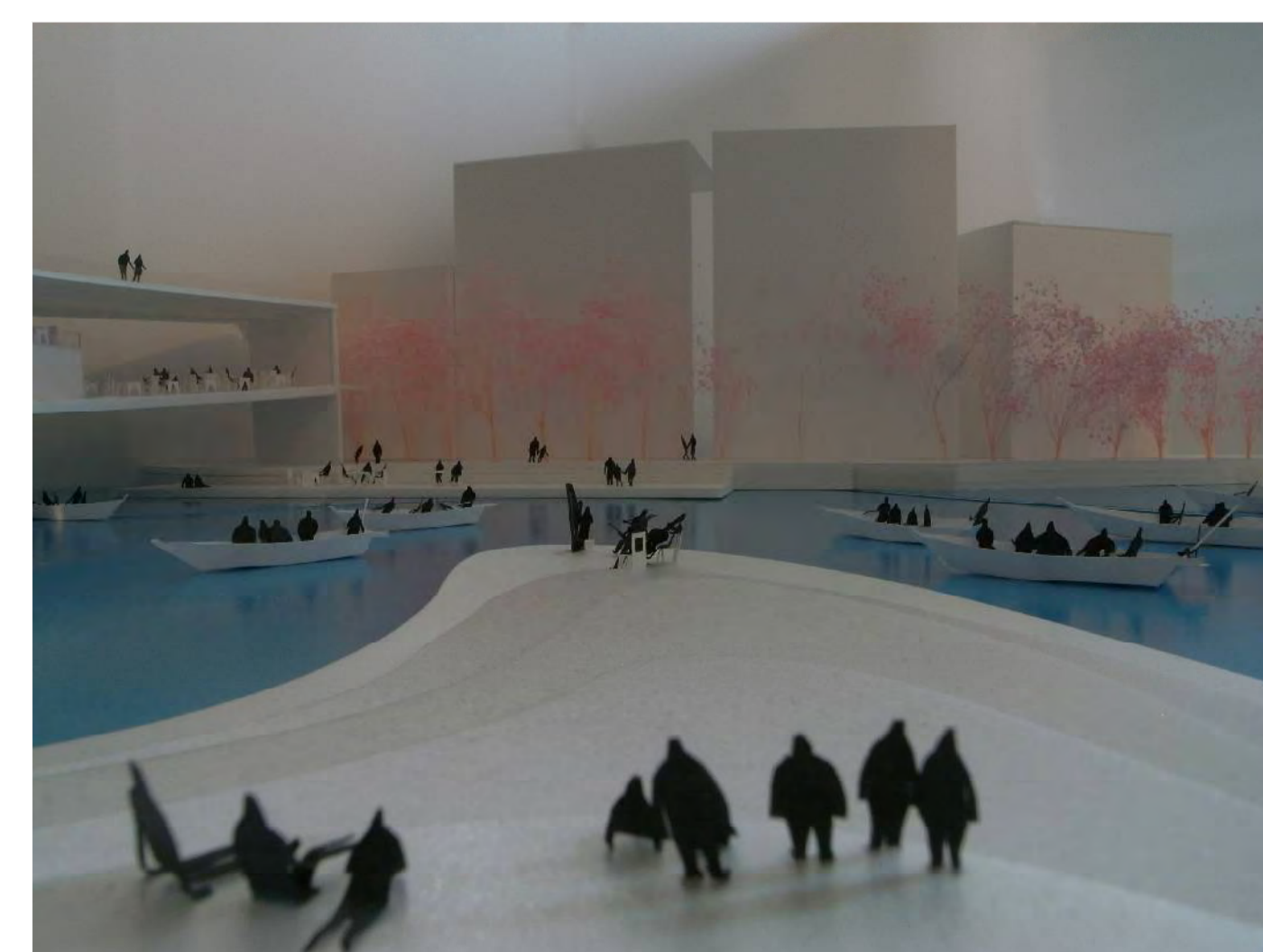
所在地:江東区木場2丁目  
主体構造:鉄骨造

用途地域:商業地域  
敷地面積:3,855㎡  
延床面積:4,418㎡  
建築面積:1,994㎡  
容積率:114.6% < 400%  
建ぺい率:51.7% < 80%





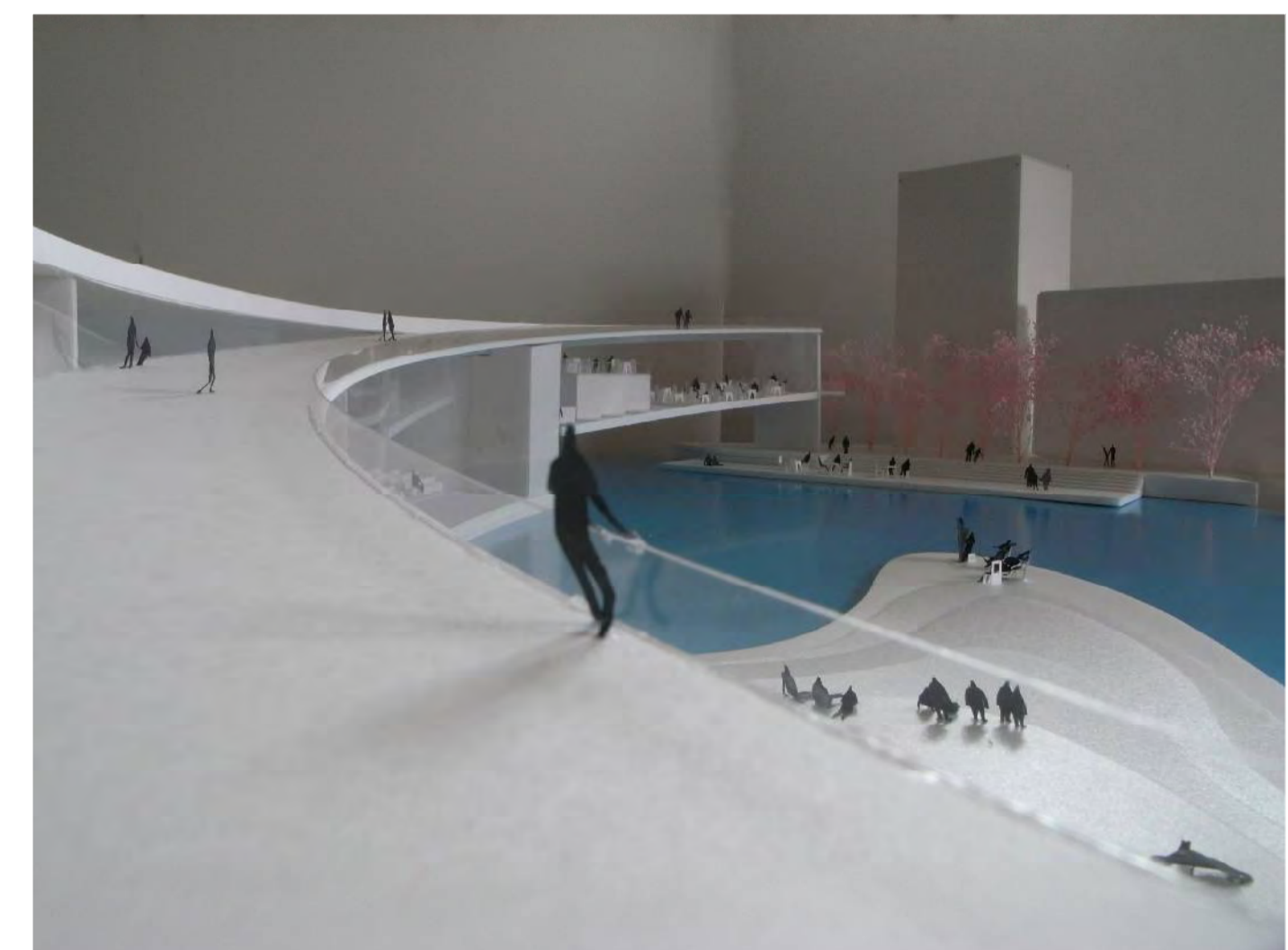
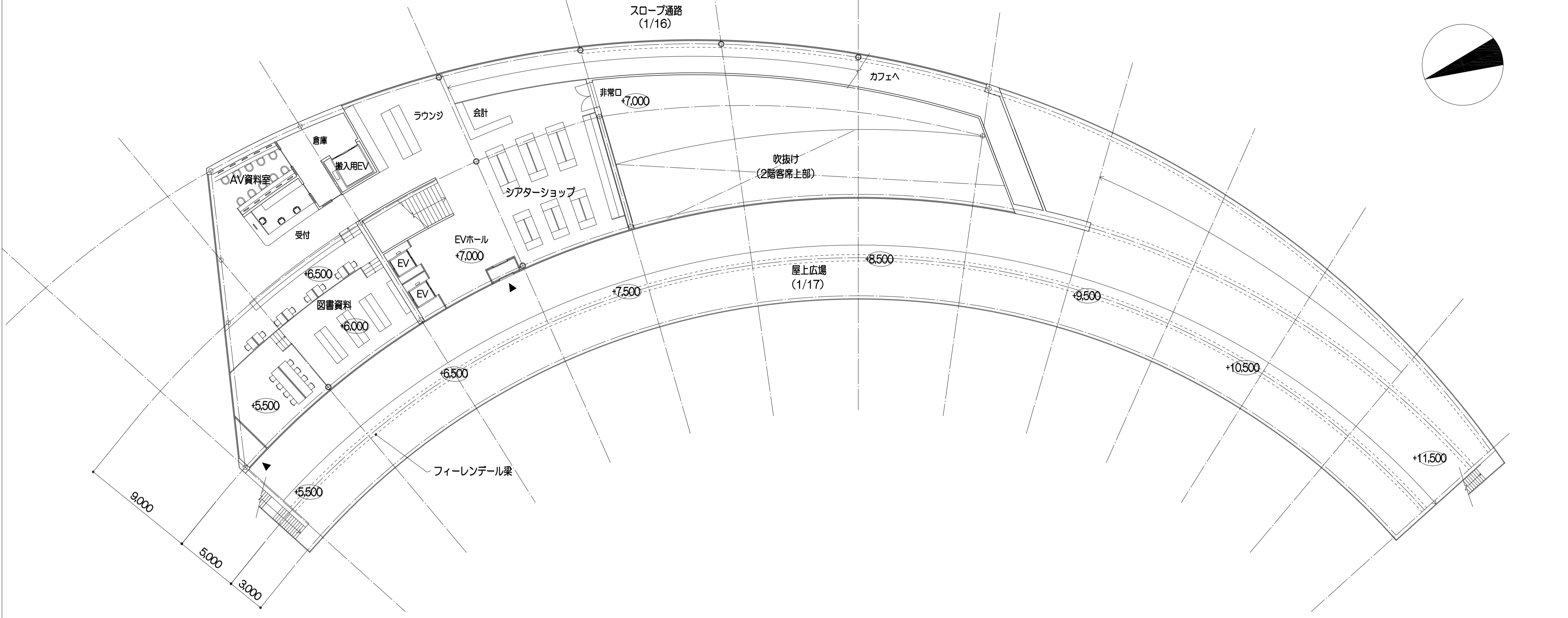
配置図兼1階平面図 S=1:200



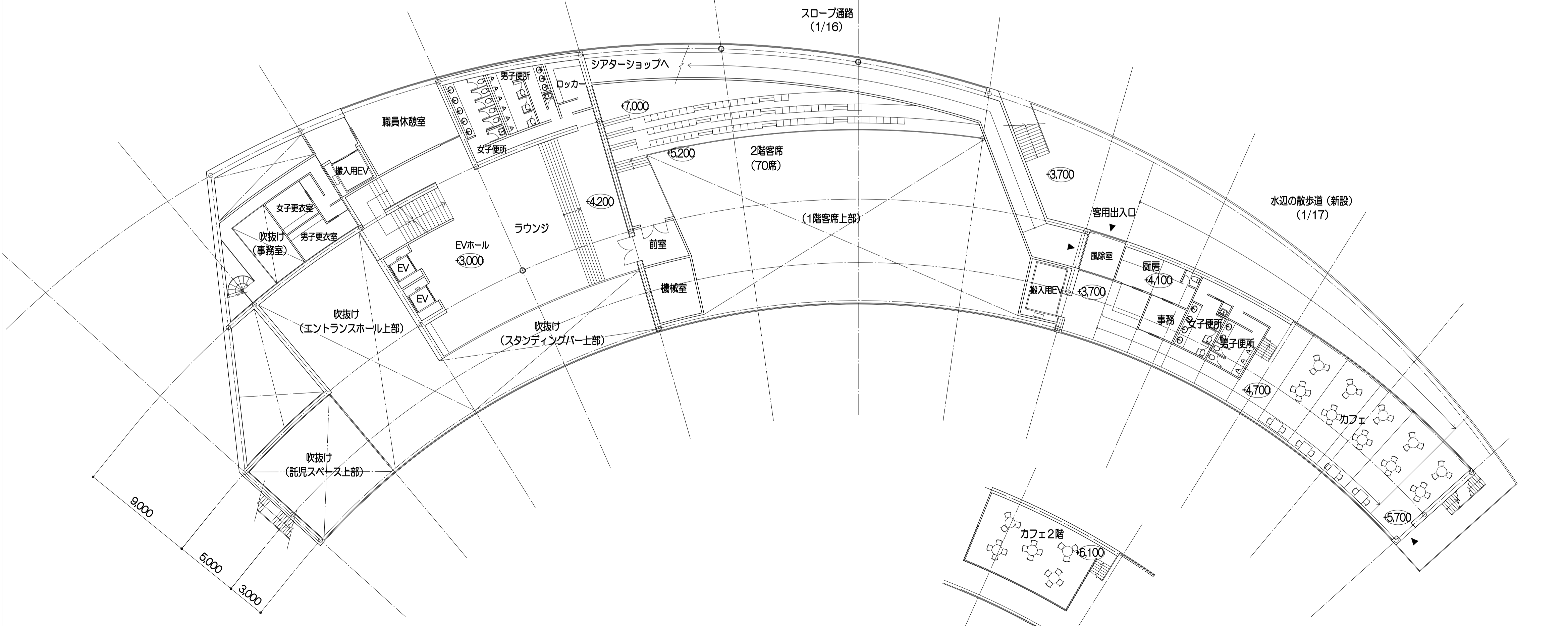
オートデスク学生版により作成



3階平面図 S=1:200



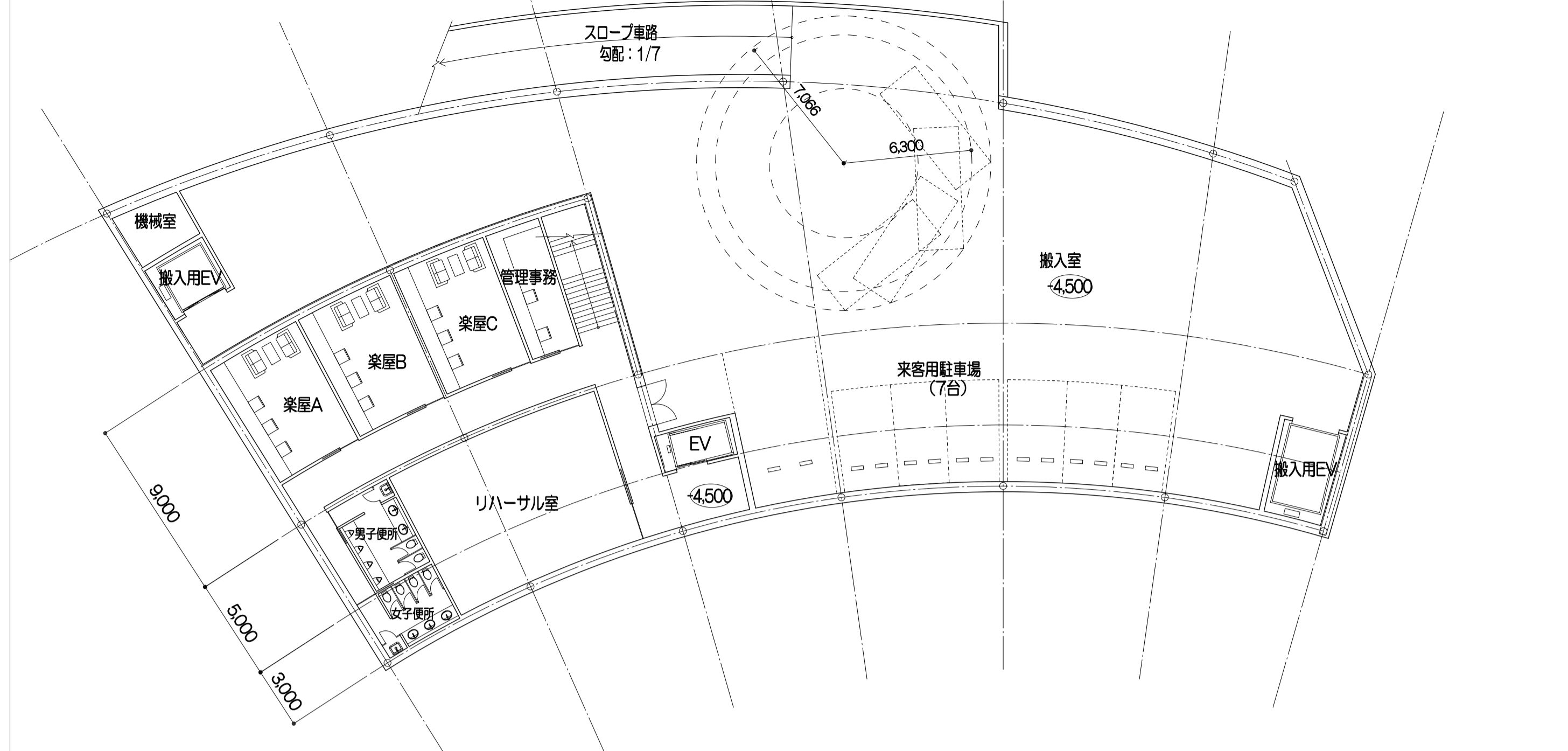
2階平面図 S=1:200



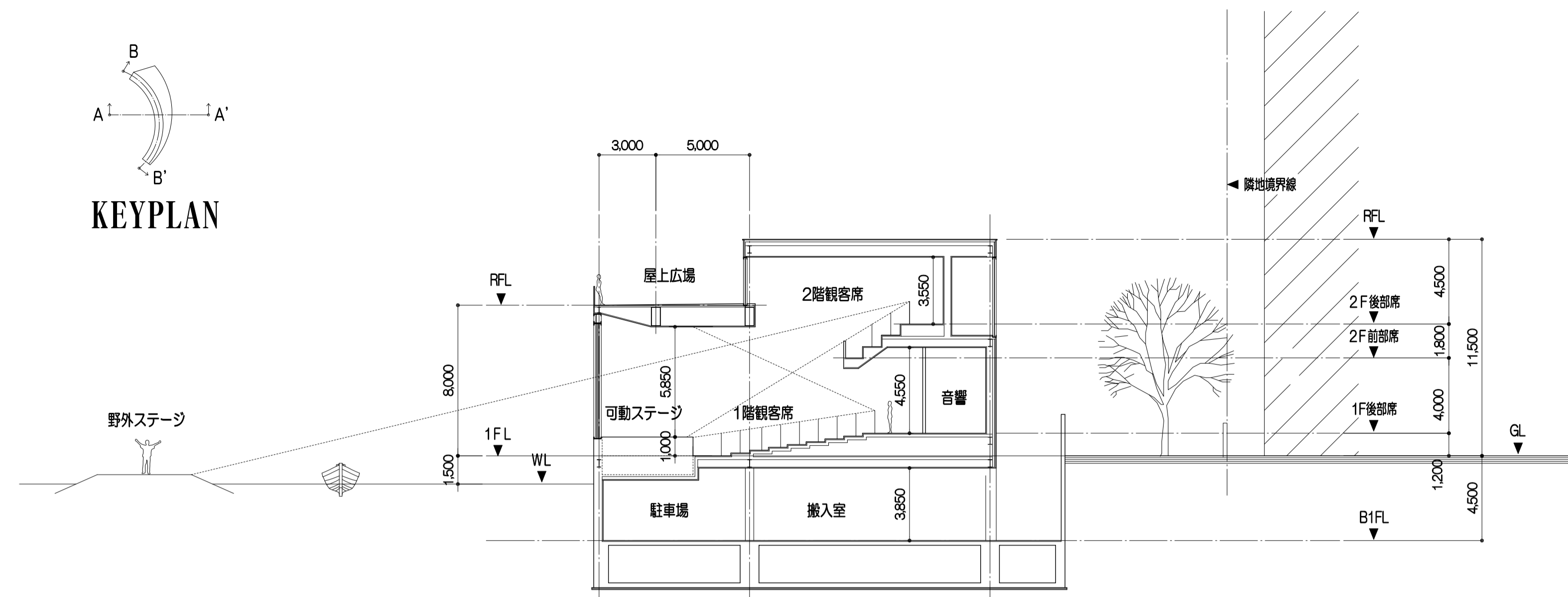
オートデスク学生版により作成



地下1階平面図 S=1:200



A-A' (劇場客席) 断面図 S=1:200



B-B' 断面図 S=1:200

